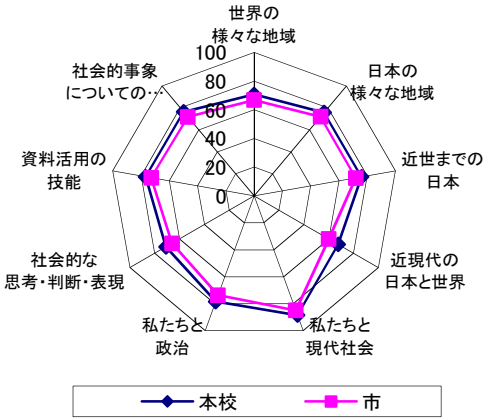


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	世界の様々な地域	70.7	66.8	54.1
	日本の様々な地域	75.8	72.1	63.4
	近世までの日本	76.0	72.0	62.0
	近現代の日本と世界	67.7	60.0	55.2
	私たちと現代社会	88.5	85.0	73.0
	私たちと政治	78.4	73.7	71.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	70.9	66.1	52.0
	資料活用 の技能	76.8	72.8	63.0
	社会的 事象についての知識・理解	76.5	72.0	64.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	平均正答率は70.7%と、市平均の66.8%を上回っている。なお、以下すべて全国平均は上回っている。 ○思考・判断力を問う設問については、2問とも市平均をそれぞれ7.1%、5.2%と上回ることができた。 ●資料活用 の技能を問う設問では、市平均を0.5%下回ってしまった。	・世界の諸地域では、世界の多様性について様々な資料から読み取りを行うなど、今後は資料を多用した授業を展開することで、資料から読み取った情報を活用する力の育成に努めたい。
	日本の様々な地域	平均正答率は75.8%と、市平均の72.1%を上回っている。 ○日本の気候や自然について問う設問では80%を超える高正答率であった。資料活用 の技能を問う設問については、いずれも市平均を上回ることができた。 ●思考と知識理解を問う設問では、市平均を下回るものがあった。	・社会的 事象の知識・理解を徹底するために、テストや単元のまとめを利用して、基本的な事項の理解を深める。また、社会的な思考・判断・表現力を身に付けるため、日本の諸地域の特異性や変化、地域の関連性について、資料の読み取りだけでなく、読み取ったことをまとめ発表する作業に力を入れ指導していきたい。
歴史	近世までの日本	平均正答率は76.0%と、市平均の72.0%を上回っている。 ○古代の設問については90%を超える高正答率であった。思考・判断力を問う設問については、2問とも市平均をそれぞれ3.8%、8.8%と上回ることができた。 ●資料活用 を問う設問では、市平均を3.1%下回るものがあった。	・状況としては、知識・理解や資料活用の部分で市の平均を下回ったものがあったことから、地理と同様に、江戸時代の支配体制と文化について、基礎基本の徹底と資料の読み取りを中心として指導していく。
	近現代の日本と世界	平均正答率は67.7%と、市平均の60.0%を上回っている。 ○いずれの観点も市平均を上回ることができた。 ●全体的に他と比較すると低回答率になっている。	・社会的な思考・判断・表現の観点は、他の観点に比べて全般的に正答率が低い。歴史分野に限らず、思考力を育成するため、資料を読み取り、その情報をもとにまとめ、判断し発表する授業の展開を多用していく。そのために適切な課題を設ける課題学習を多く設定する。
公民	私たちと現代社会	平均正答率は88.5%と、市平均の85.0%を上回っている。 ○平均正答率が80%を超え高率である。いずれも市平均を上回った。	・現代社会という単元の性格を生かし、実際の社会的 事象をテーマとした教材作成を行い、生徒の社会への興味関心を喚起するよう努める。
	私たちと政治	平均正答率は78.4%と、市平均の73.7%を上回っている。 ○フランス人権宣言や裁判の仕組みを問う設問では90%を超える高正答率を得た。 ●知識・理解を問う設問で、市平均を下回るものがあった。	・3年生での学習範囲であり、社会的 事象の知識・理解を徹底するために、テストや単元のまとめを利用して、基礎・基本的な事項の理解を深める。